

日本人、水難の日、川渡りでエンジンストップも…助けられた

篠塚 友情に感謝

2位死守

トラブル発生で遅れたものの総合2位の座を死守。逆襲を誓う篠塚。川渡りに失敗、総合3位に後退した池町



2輪 池町も50分のロス「不公平だ」総合3位に

ルが来たけど助けてくれなかったね。次に来た101号車が助けてくれ、再び走ることができたよ」。総合首位を走るアングリットハノン組に助けられたが、一歩間違えば致命的なダメージを負いかねない状況だけに、真のライバルの友情に感謝した。

競技4日目は上位を争う日本人選手には水難の一日になった。2つのセクションに分かれた競技区間(SS)1本目のフィンッシュまであと10kmで出現した川渡りの途中で、トップを走っていた篠塚のエンジンが突然止まった。「川の中でエンジンが止まり、スターターが動かなくなった。そこにトップを争っていたライバ

レグ3で4輪クラスの総合2位に浮上した篠塚建次郎組(スズキ・ジムニー)は川渡りでスタックしたが、2位の座は何とか死守した。伊藤芳朗組(いすゞD-MAX)が同6位、塙郁夫組(トヨタFJクルーザー)は同8位。総合首位は地元のアタポン・アングリットハノン組(いすゞD-MAX)が初日から守っている。2輪クラスもレグ3で総合首位に立った池町佳生(ガスガス)が川渡りでスタック、同3位に順位を落とした。

◆アジアクロスカントリーラリー4輪部門◆ (8月12日/レグ4/512km/SS=243.74km)

順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アングリットハノン	いすゞD-MAX	11時間26分40秒
2	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	1時間02分05秒
3	S・スリチャオインソブ	トヨタ・ヴィーゴ	2時間23分00秒
4	B・ブスター・ヌタルク	フォード・レンジャー	2時間33分28秒
5	R・トライラッド	いすゞD-MAX	2時間37分15秒
6	伊藤芳朗	いすゞD-MAX	2時間53分50秒
8	塙郁夫	トヨタFJクルーザー	4時間39分24秒
13	竹野悟史	スズキ・ジムニーセリア	9時間18分28秒
14	浅井道浩	いすゞD-MAX	9時間25分34秒
15	青木拓磨	いすゞMux	9時間29分00秒
16	青野泰久	スズキ・エスクード	9時間31分20秒
19	西村文克	スズキ・ジムニー	24時間15分50秒
21	青木孝次	三菱アウトランダー	25時間05分13秒
22	飯島祐一	いすゞD-MAX	26時間10分56秒
26	新井敏弘	いすゞD-MAX	40時間50分03秒

※出走28台